

〔NPO法人環境を考える市民の会〕

記入日：平成30年4月1日

【団体の概要】

私たちは昔のようなゆとりある「海老川」環境を取り戻し地域住民の幸せかつ安全な生活環境を構築するため、海老川界隈の水環境の再生と保全に向けテーマ設定施策事業を実施しています。



【11月12日地域の自然との触れ合い】

事業報告

【支援金確定額：105,773円 支援率：50%】

■実施した事業の内容

- 1) 出前学習の普及啓発実施
 八栄小学校：7月14日(月) 4年生150名 (海老川の水、歴史、橋と像、植物)
 宮本小学校：6月29日(木) (水質検査の意義と仕方、海老川での活動)
- 2) 夏休み子供環境「学びの場」
 木の実の森、飯山満公民館：8月20日(日) 20名参加 (植物採集、暦作り)
- 3) 地域の自然との触れ合い
 「森(木)と川」11月12日(土)
 (飯山満川界隈の湧き水、森の巨木、史跡、俱利伽羅不動尊、二宮神社、飯山満緑地、ドーナツ池、揺るぎ地蔵尊、飯山満調節池の造設を知る)
- 4) 海老川写生会と自然観察
 3月30日(金)実施

■支援金の支出内容

- 1、報償金は諸事業の講師料として使用
- 2、消耗品費は工作用原材料及び器具、消耗品及び教材資料などの都度の資料印刷用インクカートリッジ、紙などに消費
- 3、印刷製本・環境学習用に役立てるためのパンフレット作成 500部
 募集チラシと事業ごとおしらせ、その他諸都度のコピー
- 4、通信費は都度事業の啓発、募集、切手、ハガキ代
- 5、使用料は地域の自治会館を実行委員会の会議と事業用に借用
- 6、その他、環境学習、自然観察用に聴音器、双眼鏡

■事業の成果と今後の展望

昔より海老川は船橋の生活の動線として船橋発祥発展の要と位置付けられ親しまれてきました。この海老川界隈の環境、里山、谷津田の自然こそが先人の残した尊い遺産だと思っています。私達は、これから先も環境に対する更なる活動の展開を継続して実施し、環境問題を深く考え、良好な環境を次世代に継いでいけるよう頑張りたいです。



【宮本小学校環境学習・川の水検査】

■問い合わせ先：事務局長 菊地 けい子 (きくち けいこ)

TEL：047-465-7790 E-mail：kikuchi-14719@lake.dti.ne.jp